７月度生涯研修講座抄録

歯科接着を活用した支台築造のトラブル回避

坪田有史（鶴見大学歯学部非常勤講師）

支台築造は歯質欠損を補い、歯冠補綴装置を装着するための適正な支台歯形態へ回復させることが目的であり、その臨床的意義は高い。

歯冠補綴を行った根管処置歯の術後トラブルの中で、築造体ごとの補綴装置の脱落、二次う蝕、歯根破折が高い頻度で発生することが報告されている。とくに歯根破折は、支台歯が保存困難になる可能性が高く、できるだけ回避したいトラブルの一つといえる。

レジン支台築造は、象牙質への接着の信頼性が向上して、その選択頻度が高くなった。さらにファイバーポスト併用レジン支台築造（ファイバーポストコア）は、主に歯根破折への対策、ならびに審美性の向上やメタルフリーを目的として活用される。

２０１６年１月から「ジーシー・ファイバーポスト」が公的保険に収載され、それまで自費治療でのみ使用されていたファイバーポストが保険治療として国民に広く使用することが可能となった。その後、複数の製品が特定保険医療材料として認可され、選択肢が増えた。それらの製品から適切なファイバーポストを選択し、複数ある接着界面を理解して使用することにより、ファイバーポストの有効性を活用したい。

今回、保険治療におけるレジン支台築造の現在における基本的な考え方と保険治療におけるファイバーポストレジンコアについて解説し、臨床例を交えて臨床上のテクニックについて紹介する。

女性医師・歯科医師の会

淡路島ツアーで特産料理を堪能

女性医師・歯科医師の会は2日、淡路島日帰りバスツアーを行い、37人が参加した（写真）。

一行は神戸市内の田崎真珠本社のギャラリーに立ち寄り、真珠のモニュメントやジュエリーを見学。淡路島へ移動し、ウエスティンホテルで淡路島産の食材を使った特別ランチを堪能した後、「奇跡の星の植物館」を観覧した。

参加者から「特産のタマネギを使った料理や美しい景色に心が満たされました」などの感想が寄せられ、好評だった。

論点

公立病院「隠れ赤字」／日経新聞４月26日付

調査報道の名に値しない

ジャーナリスト・北健一

高プロ（※）のことを「時間ではなく成果で払う脱時間給」とする独自見解に固執する『日経新聞』は、公立病院の経営をめぐっても不思議な報道が目立つ。４月26日付１面トップでは、「公立病院『隠れ赤字』膨張」の見出しで、地方自治体が運営する公立病院で「赤字拡大が止まらない」と断定。５面の関連記事では「サービス水準を落とさずに効率化するには、自治体や職員が既得権益にしがみつくのをやめる必要がある」と結論づけた。

日経のモノサシ

記事でいう「赤字」は、病院収支のモノサシとして一般的な経常収支でも医業収支（医療であげた収入から医療でかかった費用を引いたもの）でもなく、救急医療確保や保健衛生にかかる自治体負担金まで医業収益から差し引いた、日経独自のモノサシだ。「新しいモノサシ」は、黒字病院を赤字に見せかける手品の種なのだろうか。

記事は、公立病院が「高コスト体質」なのは

公立病院「隠れ赤字」膨張

公費投入除く本業 5年で5割増

縮小・集約欠かせず

漂流する社会保障 NIKKEI Investigation

本業の赤字は5000億円に迫る（公立病院の収支）

日経新聞が４月26日付１面トップで報じた公立病院の「隠れ赤字」

「看護師は給与体系を柔軟に変えられず」と書き、兵庫県川西市の市立川西病院の民間委託を例示する。「赤字経営の立て直し」のため指定管理を入れたケースだが、同市は小児・周産期・救急など政策医療を支えるため、指定管理者となった医療法人に指定管理料を払う。何のことはない、公立病院に対する「負担金」が、民間法人に対する「指定管理料」に名前を変えるだけなのだ。

川西市での赤字削減の「秘密」は、記事も書くように、看護師の年収を平均153万円、率で3割近く下げることにある（当面は市が差額補填）。これでは、働き手への負担転嫁というほかはない。病院経営企画部の「公務員でなくなることに抵抗感は強い」というコメントも紹介されているが、3割も減給になれば生活が苦しくなる。「抵抗」は当たり前ではないか。

自治体・職員叩き

病院の経営難は官民問わない。最大原因は、診療報酬が、国によって過度に抑制されていることにある。２０１８年の医療機関倒産（負債１００万円以上、法的整理）は40件。10年以来の高水準となった（帝国データバンク調べ）。

記事は、社会保障の問題点を掘り下げ解決策を探る調査報道「漂流する社会保障」シリーズの一つだが、「結論ありきの自治体、職員叩き」が、調査報道の名に値するとは、どうしても思えない。

※高度プロフェッショナル制度。「高度の専門知識」を持つ労働者に対し、労働基準法の労働時間規制の適用を除外する制度。「残業代ゼロ」制度との批判がある。

第34回保団連医療研究フォーラム
分科会・ポスターセッション

演題募集要項

10/14開催　応募〆切 6月末日

【応募条件】
演題発表者及び共同研究者は、会員または会員医療機関のコ・メディカル、コ・デンタル

【応募基準】
①日常診療の向上につながる内容であること
②日常診療を行う上で対応できないものや疑問を生じさせる内容でないこと。
③上記①、②の観点にそって医師、歯科医師の学問的、一般常識からみて良識の範囲内におさまる内容であること。
④会員の研究であっても、内容が営業活動に通じる又は疑問を生じさせる内容と実行委員会で判断したものは受付できません。

【発表テーマ】
●第1分科会　医科診療の研究と工夫
●第2分科会　歯科診療の研究と工夫
●第3分科会　在宅医療、介護
●第4分科会　医科歯科連携した研究と日常診療の工夫
●第5分科会　災害、公害、環境、職業病
●第6分科会　医学史、医療運動史、医療と裁判
●ポスターセッション

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電話　06-6568-7731
HP　osk-net.org　ファクス　06-6568-0564

大阪市西部地区講習会
働き方改革関連法対応セミナー ―年次有給休暇の付与など罰則付きの改正事項を中心に―
日時　7月6日（土）午後4時～6時
会場　保険医会館5階会議室　定員　50人
講師　桂好志郎氏（協会顧問社労士）
会費　会員・家族無料、未入会者1万円

7月度生涯研修
歯科接着を活用した支台築造のトラブル回避 ―支台築造の基本からファイバーポストレジンコアまで―
日時　7月7日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール（保険医会館東隣り）
講師　坪田有史氏（鶴見大学歯学部非常勤講師）
会費　会員3千円、未入会者1万円
定員　100人

泉州地区講習会
口腔粘膜疾患の鑑別診断（仮）
日時　7月20日（土）午後7時～9時
会場　シティホテルエアポートインプリンス泉佐野（南海本線「泉佐野」駅徒歩5分）
講師　大前政利氏（りんくう総合医療センター口腔外科部長）
会費　会員無料、未入会者1万円
定員　60人

北河内地区
サントリー京都ブルワリー見学
日時　7月21日（日）午前10時～午後1時
会場　サントリー京都ブルワリー（京都府長岡京市調子3―1―1）　定員　15人
会費　会員・スタッフ昼食代一部負担有り

社保講習会
第1回　7月27日（土）午後6時～8時
内容【初・再診料、医学管理、訪問診療】
第2回　8月24日（土）午後6時～8時
内容【検査・画像診断・投薬・麻酔、処置、歯周疾患】
第3回　9月21日（土）午後6時～8時
内容【手術、歯冠修復ブリッジ、有床義歯】
会場　M&Dホール（保険医会館東隣り）
定員　100人（※会員限定、スタッフ不可）
講師　社保研究部講師団
持参物　『歯科保険診療の研究』（2018年4月版）
会費　会員無料、未入会者1万円

無料相談
法律　7月1日（月）午後2時～4時
税務　7月17日（水）午後2時～5時
雇用　7月18日（木）午後2時～4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。